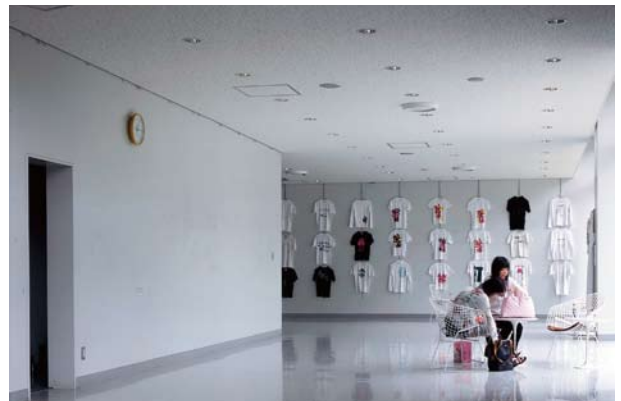


名古屋市立大学芸術工学部芸術工学棟



「健康と都市環境」をキーワードに掲げる芸術工学部は、建築、音と光の環境造形、緑化計画・サイン計画などを統合する総合デザイナーを育成する新設の学部である。多目的に利用できるアトリウムを中心に、周囲に映像、音響、環境実験などの実習室を配した。学生・教員の研究と実践の拠点として、また作品展示・芸術表現・コミュニケーションの場として活用できるスペースを豊富に持ち、公開シンポジウムの開催など開かれたキャンパスのシンボルとなっている。

所在地： 愛知県名古屋市千種区
設計指導： 柳澤忠
設計： 名古屋市住宅都市局営繕部営繕課
伊藤建築設計事務所
監理： 名古屋市住宅都市局営繕部営繕課
施工： (建築) フジタ・永楽JV
(電気設備) 川北・白川電気JV
(空調設備) 川崎・ケイデンJV
(給排水衛生設備) ホッタ設備工業
(エレベータ設備) 日本エレベータ製造
(ガス設備) 保坂工業所
敷地面積： 25,967㎡
建築面積： 2,226㎡
延床面積： 6,238㎡
構造： 鉄筋コンクリート造
階数： 地上4階
工期： 1996年12月～1998年2月
受賞： 中部建築賞入選（1999年）